

平成28年度 埼玉県校外教育協会委嘱

# 校外教育 研究紀要

## 研究主題

「川越観光サポート」を中心とした、地域に根ざした豊かな体験活動による、「ふるさと川越」に誇りを持った生徒の育成



## 川越市立初雁中学校



埼玉県川越市宮下町1-21-3

TEL 049-222-0749

FAX 049-229-1222

## 1 はじめに

本校は市内の中心部に位置し、平成 29 年 4 月に開校 70 年を迎えた生徒数 520 名の中規模校である。校区内には蔵造りの街並みなどの歴史的景観や寺社などの文化財が多く、博物館や美術館など文化施設も充実している。また、川越祭りなどの伝統的行事を守り続けている人々や地域の産業を支えている人々が多い。そこで、地域の教育資源を活用した体験的な学習をより一層推進し、コミュニケーション能力を育てることとした。そして、地域の特色を十分に活用しながら、「ふるさと川越」に誇りを持つ生徒を育成したいと考え、校外教育の実践的な研究を進めることとした。

## 2 研究のねらい

蔵造りなどの歴史的景観や川越祭りなどの伝統的行事を守り続けている地域の人々に学び、自分たちの住む「ふるさと川越」を知り、観光に訪れた人たちに観光案内をする「川越観光サポート」に発達段階に応じて系統的に取り組むことで、生徒の地域に対する愛着を強め、地域を誇りに思えるようにするとともに、一人一人のコミュニケーション能力や情報発信能力の育成を図る。

## 3 研究の概要

本校ではこれまで 3 年生の総合的な学習の時間を中心に観光客に情報発信する「川越観光サポート」の取組を行ってきた。この取組について更に指導計画の改善を図り、これまで行われてきた 1 年生から 3 年生までの様々な教育活動を相互に関連づけ、3 年間を見通した系統的・計画的な学習として体系的に取り組んだ。

## 4 各学年の実践活動

### (1) 1 年生の実践

#### <博物館で学ぼう>

クラスごとに博物館に行き、川越の歴史や文化、街並みについて職員の方から学んだ。

1 年生 博物館学習



#### <小江戸ツアーをしよう>

川越市シルバー人材センターの協力を得て、シルバーガイドの方々に川越の名所を案内していただいた。

#### [小江戸ツアーの感想]

シルバーガイドさんの案内で、川越のことを知れば知るほど楽しく、また行ってみたい、もっと昔のことが知りたいと思いました。

#### <川越の観光ポスターをつくろう>

学習のまとめとして、川越の魅力を発信するポスターを作成した。



## (2) 2年生の実践

### <川越の蔵造りについて学ぼう>

地元の住宅会社の方から「蔵造りと現代の住まい」というテーマで講演していただき、そのつくりや機能を学んだ。

2年生 地元住宅会社の方による「蔵造り」についての授業



### <川越と京都を比較して考えよう>

修学旅行に向けて京都について学習することと並行して、京都と川越を比較しながら、以下の6つのテーマに分かれて博物館やまつり会館の職員、菓子屋横丁の職人、喜多院の住職、地元の農協の方など様々な地域の方々の協力を得て調査・体験を行い、その結果をポスター形式のレポートにまとめた。

2年生 川越唐棧体験



- ・蔵造りの町並みと京都の町並み
- ・喜多院と二条城
- ・川越まつりと祇園祭
- ・川越の野菜と京野菜
- ・菓子屋横丁と京菓子
- ・川越唐棧と西陣織



### [調査・体験後の感想]

最初は何となくしか知らなかったけれど、京都と川越を比較して調べていくうちに、色々な違いがあることがわかり、あらためて川越の魅力を再発見することができました。修学旅行で京都に行くのも楽しみになりました。

## (3) 3年生の実践

### <英語で観光案内に挑戦しよう>

最近、川越にも多くの外国人観光客が訪れるようになった。そこで、市内のAET6名を迎え、事前学習により準備したフリップを用いながら、英語による観光案内の練習を全員が行った。

3年生 英語で観光サポートの練習

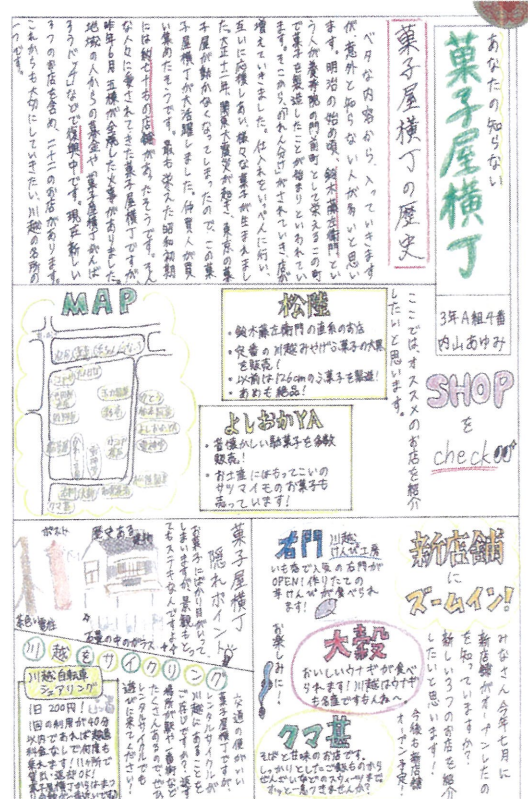


## <川越のまちで観光客の観光サポートをしよう>

観光サポートの事前学習としてシルバーガイドの方々を招き、上手な説明の仕方や相手との接し方について説明を受け、当日使用する資料やパンフレット等を作成して、川越城本丸御殿や時の鐘、喜多院、氷川神社、菓子屋横丁など約10カ所の観光拠点に班ごとに立ち、川越を訪れた観光客に声をかけて観光案内を行った。

また、その成果を新聞にまとめて発表し合った。この取組は新聞社の取材を受け朝刊にも掲載された。

3年生 観光サポート本番(観光客に川越の街を説明)



### [実習後の感想]

観光サポートを通して、誰にでも物事をわかりやすく伝えることの難しさを実感しました。しかし、自分たちの説明によって川越に興味を持ってくださった方がたくさんいて、とてもうれしく感じました。私たちの住む街川越に誇りを持って大人になりたいと思います。

## 5 成果と課題

本校の生徒たちの「ふるさと」である川越の町には様々な教育資源がある。その地域の特色を活用し、地域の人々に学び、自分たちの「ふるさと川越」を知る。そうして学んだことを観光に訪れた人たちに案内をする「川越観光サポート」の取組に系統的に取り組むことで、生徒たちは地域に対する愛着を強め、地域を誇りに思えるようになってきている。また、一人一人のコミュニケーション能力をはじめとする社会的自立のために必要な能力・態度が育ってきている。

今後は、各教科の指導も含めた全ての教育活動について、本校周辺の校外にある地域の教育資源を更に有効活用する視点から見直しを行い、生徒一人一人が豊かな体験や様々な人とのふれ合いを通して、より一層多くのことを学び合い、伝え合うことができるよう実践を積み重ねていきたい。